



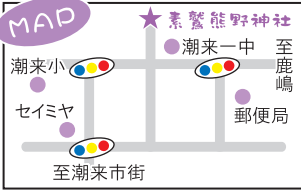
## 素鷲熊野神社

◆潮来市潮来

◆祭神・須佐之男命(すさのののみこと)素鷲の祭神、奇稲田姫命(くしなだひめのみこと)素鷲の祭神、伊弉册命(いさなのみこと)熊野の祭神、伊弉諾命(いさなののみこと)熊野の祭神、速玉男命(はやたまのみこと)熊野の祭神、東解男命(とさかのみこと)熊野の祭神。  
八月に行われる潮来祇園祭禮で有名な素鷲熊野神社は素鷲神社と熊野神社を合わせた神社。潮来本町の人たちから「天王さま」と呼び親しまれている。除夜の鐘が鳴り終わるのを待つて初詣する人たちが毎年賑わう。



◆潮来市日の出



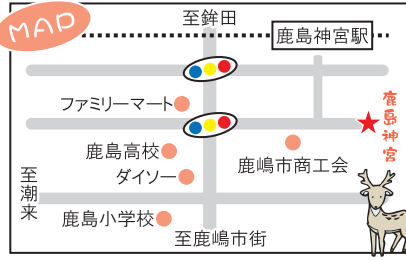
法相宗大本  
山薬師寺の  
東関別院  
である潮来  
音は慈母観  
音様が見守  
る「決心」の  
「再起」のお  
しるし。年々  
事が行われる

まだ  
間に合う!

2010年  
初詣特集



◆鹿島神宮 ◆鹿嶋市宮中



所領寄進が繰り返されてきた。重要文化財に指定されているものが沢山ある。宝物館には重要文化財の梅竹時給鞍、茨城県唯一の国宝でもある直刀が展示されている。他に、奥宮は慶長10年、徳川家康公が関ヶ原の戦勝のお礼に本殿として奉納されたもの。二代將軍徳川秀忠公による社殿造営の際に現在の拠に引き遷した。社殿は元和5年、徳川秀忠公より奉納されたもので、桃山期の極彩色が華やかだ。本殿幣殿・拝殿・石の間いずれも国の重要文化財。寛永11年、徳川頼房公が奉納した楼門は日本三大楼門の一つ。

◆祭神・武甕槌大神  
鹿島神宮は皇紀元年(紀元前660年)の建造と伝えられ、東国三社の一つにも数えられる名社である。祭神は香取神宮の経津主神(ふつぬしのかみ)とともに、天孫降臨に先立ち國譲りの交渉をしたと言われる武甕槌神(たけみかづちのかみ)。武の神としての古くから皇室や藤原氏の崇敬を受け、さらに鎌倉期以降は武家政権の信仰も得、社殿・楼門・宝物類の奉納や、奥宮は慶長10年、徳川家康公が関ヶ原の戦勝のお礼に本殿として奉納されたもの。二代將軍徳川秀忠公による社殿造営の際に現在の拠に引き遷した。社殿は元和5年、徳川秀忠公より奉納されたもので、桃山期の極彩色が華やかだ。本殿幣殿・拝殿・石の間いずれも国の重要文化財。寛永11年、徳川頼房公が奉納した楼門は日本三大楼門の一つ。

潮来  
健康フェスティ  
バルが開催



11月21日(土)、潮来市島須のかすみ保健福祉センターで「潮来市いきいき健康フェスティバル」が行われました。

潮来  
活躍する作家展が  
開催



潮来市の市文化協会主催による作品展「活躍する作家展」が、12月2日(火)まで潮来の水郷まちかどギャラリーで開かれました。

鹿嶋  
人々の心に残る  
ふれあいコンサ  
ート



12月14日(月)、ボランティア団体ペンペン草主催の「ふれあいコンサート」が鹿島勤労文化会館のリハーサル室で開かれました。

